

令和3年8月23日

横浜市鶴見区長 森 健二 様

横浜市白幡公園子どもログハウス指定管理者選定委員会  
委員長 峯尾 武巳

横浜市白幡公園子どもログハウスの指定管理者の候補者の選定結果報告書

横浜市白幡公園子どもログハウスの指定管理者選定にあたり、応募団体から提出された書類の審査及び面接審査を行いました。

このたび、審査が終了し、指定管理者の候補者を選定しましたので、選定結果を報告します。

1 横浜市鶴見区民文化センター指定管理者選定評価委員会 委員

役職	氏名	団体・役員名
委員長	峯尾 武巳	元 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科教授
委員	金子 セツ子	つるみ子育て・個育ちフォーラム運営委員会 会長
	澤野 肇	東寺尾第二自治会 前会長
	清水 幸夫	税理士
	望月 美代子	鶴見区青少年指導員協議会 副会長

2 選定経過

日程	実施内容
4月16日	第1回委員会（選定スケジュール・公募要項等確定）
5月6日	公募開始
5月17日	応募説明会・現地見学会（1団体）
5月17日～6月3日	質問受付
6月28日、29日	応募書類受付
8月16日	第2回委員会（指定候補者の選定）

3 応募者（1団体）

特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会

4 審査の考え方

委員の合計点が最高点の60%未満の場合や、各大項目の小計において当該項目の委員の平均点が当該項目の最高点の20%未満の項目がある場合、また財政状況が著しく悪い場合には選定せず、改めて公募を実施する。

5 応募者の資格について

応募者について、応募書類により、公募要項に定める応募の資格を持ち欠格事項及び失格事項に該当しないことを確認した。

6 審査結果

1位「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」（450点中405点）

※審査項目別の評価結果については別紙のとおり

7 講評

応募団体は現在の指定管理者として利用者のニーズを反映した事業や地域と連携した運営を行っており、今後の運営にも期待ができる。一方でリスク管理の観点では十分な対策がとられているとは言えないため、今後は地理的な特殊性を考慮した防犯・防災面での対応方法についてさらに検討してもらいたい。

## 横浜市白幡公園こどもログハウス 選定結果（評点集計表）

項 目	配点	NPO法人 鶴見区民地域活動協会
<b>1 団体の状況</b>		
(1) 団体の理念、基本方針及び財務状況等	50	44
(2) 応募理由	25	22
<b>2 職員配置・育成</b>		
職員の確保、配置及び育成	25	19
<b>3 施設の管理運営</b>		
(1) 施設及び設備の維持保全並びに管理	25	20
(2) 小破修繕への取組	25	19
(3) 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応	25	18
(4) 防災に対する取組	25	16
(5) 利用者のニーズ・要望・苦情への対応	25	20
(6) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組	25	19
<b>4 事業の企画・実施</b>		
(1) 事業計画、事業展開	50	42
(2) 施設の利用促進	25	22
(3) 地域課題の理解及び、課題を踏まえた事業提案	25	21
(4) 関係機関及び地域団体との連携	25	20
<b>5 収支計画及び指定管理料</b>		
(1) 指定管理料の額	25	19
(2) 施設の課題等に応じた費用配分	25	20
<b>6 新型コロナウイルスへの対応等</b>		
新型コロナウイルス感染症等の拡大防止に係る対応	25	22
<b>7 その他（加減要素）</b>		
(1) 市内中小企業等であるか		25
(2) 前期の指定管理者の実績		17

合 計

450

405

順 位

1